

議事要点

会議名称	令和 7 年度 第 2 回立川市国民健康保険運営協議会
開催日時	令和 7 年 10 月 22 日（水） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分
開催場所	立川市役所 208・209 会議室
次第	1 会長職務代理者の選任について 2 令和 6 年度特別会計国民健康保険事業決算等について 3 令和 6 年度の保健事業の実績について 4 その他
配布資料	【資料】 資料 1 令和 6 年度立川市特別会計国民健康保険事業歳入歳出決算書 資料 2 立川市の国民健康保険 令和 7 年度版（令和 6 年度実績） 資料 3 令和 6 年度立川市国民健康保険 保健事業実績
出席者	〔委 員〕 被保険者代表（5 名） 小迫 雅信 西村 徳雄 宮本 郁子 宮本 直樹 森 比呂志 保険医及び保険薬剤師代表（4 名） 五十嵐 弥生 多森 芳樹 平田 俊吉 久保 賢仁 公益代表（3 名） 浅川 修一 若木 早苗 黒川 重夫 被用者保険等保険者代表（2 名） 大塚 智廣 増島 武 〔事務局〕 副市長 近藤 忠信 保健医療部長 渡貫 泰央 保険年金課長 根岸 竹明 財政課長 徳丸 祐豪 保険年金課業務係長 小安 裕史 保険年金課医療給付係長 熊谷 由希雄 保険年金課賦課係長 高橋 定洋 保険年金課業務係 加藤 亜美
公開及び非公開	公開
傍聴者数	2 人

<p>会議結果</p>	<p>1 会長職務代理者の選任について 会長・職務代理者を選任。</p> <p>2 令和6年度特別会計国民健康保険事業決算等について 資料1及び資料2に基づき、令和6年度の決算について説明。 不納欠損が減少した理由、差押えの件数が増えた理由、給与の差押えが増えた理由についての質問があり、本来収納課の担当であるが、把握しているところでは、早めに差押えをして、収納率向上に結びつけているところがあり、不納欠損自体も減少している。差押えは差押えしやすいものから行うというのが方針であり、預金を調べて、ない場合は次の給与に行くというのが基本的な流れになっていると回答。 滞納世帯が令和6年度増えた原因は何かという質問に対し、滞納の部分も収納課がやっているが、表を見ると、滞納整理の部分とも共通する部分があり、コロナによって一部できなかったところが、増えてきているような状況はあると思うが、そこが通常の状態に戻っているのか、そうでないかは、細かく見ていかないと分からない。家賃等、様々かかる費用があり、保険料の支払いができない部分もあると思う。基本的には分納等、収納課のほうの相談につなげていっており、細かな分析はできていない部分はあるが、なるべく納付に結びつけるような形での相談にさせていただいていると回答。 滞納世帯への対応として短期証が廃止されたが、医療にかからなくてはいけないときの対応は、どうなのかという質問に対し、昨年度のマイナ保険証の一本化で短期証自体が制度上廃止になり、特別療養費に変わった。短期証に代わる部分として資格確認書を短くして発行してもよいと、国より通知が来ているので、緊急で医療にかかる場合はそういった対応が考えられるが、今のところ事例としては発生していないと回答。 滞納世帯数や滞納世帯率が上がっている理由は、今の社会状況を分析する上で必要なもので、次回までに収納課に確認し、結果を知らせて欲しいという意見があり、事務局が了承した。</p> <p>3 令和6年度の保健事業の実績について 資料2及び資料3に基づき、令和6年度保険事業実績について、説明。 特定保健指導を受けた方の結果は出ているかという質問に対し、利用率は低いですが、食事を切り替えたり、食べる時間を気にしたりという目標を立てることで、血糖値の数値や体重減で実際効果が出ており、前向きに引き続き取り組んでいきたいというような感想が利用者からもあり、効果があると捉えていると回答。効果が見えにくいので、利用者アンケートを取り、それがどんな結果だったのかを知りたいという意見があった。</p>
-------------	---

	<p>被用者保険では、特定保健指導は3か月で腹囲2センチ、体重2キロ減らせると目標達成としている。また、同じ方が翌年に特定健診を受けて、特定保健指導の対象から外れたということであれば、成果があったという評価につながると思うので、被用者保険と国保は違いがあるかもしれないが、その辺りを委託業者に確認し、目に見える形の成果へつなげられるとよいと思うという意見があった。</p> <p>特定健診の課題事項に、高齢者層が減ったという文章があるが、成果連動型の民間委託でやっているところで、年齢別の層別の考え方や所得の層別の考え方はあるのかという質問に対し、年齢別や様々な層別に受診者数を見ているが、層別での目標は特に現状は立てていない。所得別では把握をしておらず、目標も立てていない。連続受診者を増やしていくということを意識して、委託先事業者と共にやっていると回答。また、通院中で未受診者の方への働きかけも強化していくと回答した。</p> <p>受診者1人当たり幾らの費用対効果だったのかという質問に対し、立川市は、基本項目プラス立川市独自追加でやっている項目があり、大体平均で1人当たり1万2,000円から1万3,000円が特定健診を受けるとかかる。費用対効果は、直接的にあるというのが難しいが、特定健診を受けず、重症化してしまうと一気に医療費がかかるため、将来的な医療費増大を防ぐために早期受診を促していると回答。</p> <p>令和6年度は特定保健指導の人数は約1,000人対象者がいるが、900人は指導につながっていないので、特定保健指導も成果連動型にしてはどうかという意見があった。</p> <p>特定健診の委託料が、全体でどれぐらいかかっているのかという質問に対し、資料1の487ページ右下に委託料全体の金額が記載されており、そのうち、特定健診委託料が医師会に委託している委託料で、特定健康診査受診率向上事業委託料というのが、特定健診の受診勧奨にかかる委託料で、約857万円であると回答。</p> <p>市の職員である保健師と、特定健診の受診勧奨の委託では、関わりはあるのかという質問に対し、健康推進課に多くいる保健師に意見を聞きながら、この通知の作成を委託事業者と共にしており、専門的な知識のある市の職員とも話をしながら、どういった事業の展開がよいか考えながら事業を実施していると回答。</p> <p>4 その他</p> <p>次回第3回の運営協議会は、11月27日木曜日に1階の101会議室での開催を予定。</p>
担当	<p>保健医療部保険年金課</p> <p>電話 042-528-4314</p>